

(仮称)言語としての手話を使用しやすい環境の整備に関する条例骨子案について

1 経緯

令和元年6月県議会定例会において、「岩手県手話言語条例の制定を求める請願」が採択された。(請願者：一般社団法人岩手県聴覚障害者協会)

【請願事項】

岩手県手話言語条例を制定し、聴覚障がい者の言語としての「手話」の理解や普及、使用に関して基本理念を定め、県等の責務を明らかにするとともに、政策の総合的かつ計画的な推進を図ること。

(参考) 他都道府県における条例制定状況(令和5年8月末現在) …36 都道府県

2 条例の目的

- (1) 手話を使用しやすい環境の整備に関し基本理念を定め、県の責務並びに県民及び事業者(以下「県民等」という。)の役割を明らかにする。
- (2) 併せて、手話を使用しやすい環境の整備のための施策の総合的かつ計画的な推進に必要な事項を定め、手話を使用しやすい環境の整備に関する施策を推進し、もって手話を必要とする人を含む全ての人が共生することのできる地域社会を実現する。

3 条例骨子案

- (1) 目的
条例の制定の目的について定める。
- (2) 基本理念
手話を使用しやすい環境の整備は、手話が言語であるとの認識の下に行われなければならないという条例の基本理念について定める。
- (3) 県の責務
手話を使用しやすい環境の整備に関する総合的な施策を策定するとともに実施するという、県の責務について定める。
- (4) 県民等の役割
手話に対する理解を深めるとともに、手話を使用しやすい環境の整備に関する県の施策に協力するよう努めるという県民等の役割について定める。

(5) 市町村等との連携及び協力

手話を使用しやすい環境の整備を図るに当たっての市町村その他の関係機関及び関係団体との連携及び市町村等の取組への協力について定める。

(6) 手話を使用しやすい環境の整備に係る施策の策定及び推進

手話を使用しやすい環境の整備に関して必要な施策を都道府県障害者計画において定め、これを効果的かつ計画的に推進することについて定める。

(7) 手話を学ぶ機会等の確保

県民が手話についての理解を深め、及び手話を学ぶ機会の確保について定める。

(8) 手話を用いた情報発信等

県による手話を用いた県政に係る情報の発信について定めるとともに、災害その他非常の事態の場合において手話を必要とする人が情報を取得しやすくなるよう、県が市町村に協力することについて定める。

(9) 手話通訳者等の養成等

手話通訳者等の養成、技術の向上等について定める。

(10) 手話を必要とする幼児、児童又は生徒の手話の習得機会の提供等

聴覚に障がいのある人のうち手話を必要とする幼児、児童又は生徒に対する手話の習得の機会の提供その他必要な支援について定める。

(11) 財政上の措置

手話を使用しやすい環境の整備に関する施策の推進のための財政上の措置について定める。

(12) 附則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

4 今後のスケジュール

令和5年11月下旬から実施するパブリックコメント等において、請願団体ほか県民からの御意見を踏まえて条例案を作成し、2月県議会定例会への提案を予定している。